

2022 年度 第2学期 理学部 生物学科		日英区分: 日本語
生体制御学III B Introduction to Chronobiology B		
講義番号	科目区分	学期
059436		第2学期
ナンバリングコード		教室
NAAA0SCBZ4002N		理学部1号館22講義室
必修・選択の別		
単位数	曜日・時限	
1	木1~2	
担当教員(ローマ字表記)		
松井 鉄平 [MATSUI Teppei]		

#### 対象学生

理(全) [H28~R2年度入学生]

#### 他学部学生の履修の可否

可

#### 連絡先

tematsui@okayama-u.ac.jp

#### オフィスアワー

メールでアポイントを取ってください

#### 学部・研究科独自の項目

関連しない

#### 使用言語

日本語

#### 授業の概要

神経システムについて最近の知見を講義する。データ解析や、それに必須の数学・統計についても適示講義し、演習を行う。生体制御学3Aの続きの内容。

#### 学習目的

神経システムは現代生物学の主要な研究対象であるため。

#### 到達目標

神経システムの概要を説明できる。神経データの解析を実践できる。関連する数学・統計を理解できる。

#### 授業計画

- 第一回 ガイダンス
- 第二回 運動に関わるシステム
- 第三回 運動に関わる神経活動の解析
- 第四回 記憶に関わらう神経システム
- 第五回 記憶に関わらう神経活動の解析
- 第六回 高次認知機能に関わらう神経システム
- 第七回 高次認知機能に関わらう神経活動の解析
- 第八回 まとめ

#### 授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)

## ■ 授業形態

### (1)授業形態-全授業時間に対する[講義形式];[講義形式以外]の実施割合

80% : 20%

### (2)授業全体中のアクティブ・ラーニング

協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)  
やや多い

対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)  
多い

思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)  
多い

理解の確認・促進(問題演習、小テスト、小レポート、授業の振り返りなど)  
やや多い

### (3)授業形態-実践型科目タイプ

該当しない

### (4)授業形態-履修者への連絡事項

プログラミング(PythonかR)が必要になります

## ■ 使用メディア・機器・人的支援の活用

視聴覚メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)  
やや多い

学習管理システム(Moodleなど)  
やや多い

人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)  
やや少ない

### 履修者への連絡事項

字幕のないDVDを使用しますので、配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい

## ■ 教科書

備考

## ■ 参考書

備考

## ■ 成績評価基準(授業評価方法)

質問や発表などの授業参加とレポートまたは試験により評価します

## ■ 受講要件

生体制御学3Aの続き

## ■ 教職課程該当科目

関連しない

## ■ JABEEとの関連

関連しない

■ 持続可能な開発目標 (SDGs)

■ 実務経験のある教員による授業科目

■ 備考/履修上の注意

演習などの宿題が出ます